

補正予算審査特別委員会記録

とき 令和8年2月20日

国分寺市議会

補正予算審査特別委員会

令和8年2月20日（金）

○ 出席委員

委員長	だて 淳一郎
副委員長	木島 たかし
委員	脇村 たいき
	松岡 まり
	森田 たかし
	星 いろは
	新海 栄一

○ 審査事項

- 1 議案第7号 令和7年度国分寺市一般会計補正予算（第14号）

午後 2 時 46 分開会

○だて委員長 ただいまから補正予算審査特別委員会を開会いたします。

本日の本会議で委員会の設置とともに正副委員長が選任されております。

副委員長には木島委員が、委員長は私、だてが務めさせていただきます。

よろしくお願い申し上げます。



それでは、議案第 7 号 令和 7 年度国分寺市一般会計補正予算（第 14）号を議題といたします。

それでは、財政課長より説明をお願いいたします。

○松下財政課長 それでは、議案第 7 号、令和 7 年度国分寺市一般会計補正予算（第 14 号）について説明いたします。

本案は、歳入歳出予算の総額 648 億 4,675 万 6000 円に、歳入歳出それぞれ 3,900 万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 648 億 8,575 万 6,000 円とするとともに、第 2 条といたしまして、債務負担行為 1 件の追加をいたしたいというものでございます。

3 ページをお願いいたします。第 2 表、債務負担行為 1 件の追加でございます。こちらは、11 ページの調書につきましても、審査の参考としていただきたくお願いいたします。

公設介護老人保健施設の管理運営体制の在り方に関する調査業務委託事業は、介護老人保健施設の在り方を検証する基礎資料作成等のための調査業務委託に係る債務負担を設定するものでございます。

こちらは、担当課より別途資料を提出しておりますので、参照いただきたくお願いいたします。

また、7 ページ以降の内容につきましては、こちらにも、別途事項別明細書資料を提出しております。

この他に基金一覧表も提出しておりますので、審査の参考としていただきたくお願いいたします。

説明は以上でございます。御審査のほどよろしくお願いいたします。

○だて委員長 説明が終わりました。

歳入及び歳出については、事項別明細資料明細書資料に説明が記載されておりますので、口頭での説明は省略をいたします。

質疑については、第 2 表、債務負担行為補正及びその調書を含め、一括で受けたいと思いますが、御異議ありませんでしょうか。

（「異議なし」と発言する者あり）

○だて委員長 御異議なしと認め、さよう決定いたしました。

それでは、質疑のある方は挙手にてお願いをいたします。

○松岡委員 御説明ありがとうございました。

先ほどの厚生文教委員会です。一定の質疑があり、内容については理解しているところです。

お聞きしたいのは、今回歳出としてサービス協会への補助金 3900 万円ということですが、この金額の説明をお願いしたいと思います。

○小峯地域共生推進課長 今回、利用者へのサービスが適切に継続されるために、給料の未払いや給食調理委託などの支払いが滞るような資金ショートは避けなければならないという観点で、サービス協会とのヒアリングを進めて参りました。

その中で、毎月の支払資金を確保し、運営を安定させるために、サービス協会が確保しておくべき必要な金額規模を確認させていただきました。

具体的に、新規施設を開設する際の要件としては、東京都国民健康保険団体連合会からの収入が2ヶ月遅れで入ってくるということなどを踏まえて、年間の費用として2か月分の資金確保は求められておりますが、当該事業所はすでに稼働しておりますので、1か月分程度の支払資金を確保しておくべきとの判断に至りました。

今回、令和6年度決算額を参考に計上しました。建物管理事業を除く経常費用の合計を12か月分で割りまして、4,800万円程度の資金確保が必要だと試算をさせていただきました。今回、3,900万円との差につきましては、経営改善に向けた取組みを継続していただくことを、サービス協会より示していただいたものになります。

○松岡委員 詳細について、ありがとうございました。

今回3月までの補正だと思うので1か月分ということですがけれども、この資料にもありますけれど、利用者に安心して使っていただけるように、そこは再度お願いしたいと思います。御確認させていただきまして、ありがとうございます。

○だて委員長 ほかにございますか。

○新海委員 説明ありがとうございました。

経営状況について、資料を見ますと、なかなか、もともと20年前、20年前というか平成12年に始まる時は非常に斬新な事業で、かなり期待された事業だったんですね。当時、私はロータリークラブの幹事でした。この施設長は会員の方で、理事で4人ぐらい出してもらいたいと言われて出したこともありますから、かなり健康福祉サービス協会には思い入れがあります。

私はこれについては今まで1回も質問したことはなかったんですが、ここまで来るとね、相当な赤字になってますし、20年間よく頑張って続けてきたなというふうに思っています。

御努力された方々には、本当によくやってこられたなというふうに言っておきたいと思います。ただ、この四、五年で非常に赤字が増えてますから、ここの原因は究明されてるんでしょうか。その辺を教えてください。

○荒田高齢福祉課長兼地域包括ケア担当課長 簡単に言いますと、人件費の部分が增加してるのが原因と捉えています。細かい部分につきましては、コンサルタントを入れまして、調査の結果で分析していくということをございます。

○新海委員 コンサルの結論を待ちたいと思いますけど、いずれにしても、人件費はかなり事業内容に対してオーバーしてるような気がしますね。ですから、その辺りはしっかりと認識してやってもらわないといけません。ここで、3,900万円を補助してやってもらいますけども、すぐショートしてしまうと思うんですよね。ですから、本当に事業内容をしっかり見て、管理してる人たちが、しっかりと経営感覚を持ってやってもらわないと、なかなか難しい状況だろうと思います。

この後の処置については、コンサルの結論を待ちたいと思いますけども、いずれにしても、かなり厳しい状況かなというふうに思いますので、本当にしっかりとしていきたいというふうに思います。

○だて委員長 ほかにございますか。

○森田委員 よろしくをお願いします。

先ほど3,900万円の根拠をお示ししていただいたんですけど、それは法人の努力を鑑みた数字ということだったんですけども、実際に、その経営努力という面で、どういったものを今やられて、そして今後期待されるところがあるのでしょうか。

○小峯地域共生推進課長 資料の方にも書かせていただいたんですが、現在管理職の手当等のところで、御努力いただいているというところがございます。

あとは、退職者不補充というところで、これからになるんですけど、年度末に退職される方がおられますので、そここのところは不補充で体制を組みたいということで説明を受けております。

補足させていただきますと、事務職について、管理職の3名の方が定年されますので、その3名分については、不補充で対応したいという話は聞いております。

○森田委員 ありがとうございます。

人件費等を増やさないというところの御努力と、あと通所とかの利用数を増やす努力ということもされているかと思うんですけども、やはり経営をするに当たって、減らすところは減らして増やすところは増やしていくということは非常に必要だと思いました。

御努力もされていたんですけども、赤字がどんどんかさんでしまっていて、こういった結果に至ってしまったんですけど、見る人が見たらもう少し前からもう少し手が打てたのではないのかなという意見も出てくるのも仕方ないと思うんです。現段階でこういう状況にあって、今後コンサルを入れて現状を第三者的に分析して、今後どういった形でこれを進めるのか、はたして違う形にしていくのか、それとも、しかるべき決断ということも必要になってくるとは思うんですが、資料の文章を読みますと、法人の経営分析、会計の専門家に委託してとあって、やはり市全体の老人健康保険施設の在り方とかも必要だと思うので、それは計画を立てるに当たって分析もされると思うんですけども、しっかりと市全体、社会状況というものも鑑みながら、分析をしていただきたいと思います。一言お願いいたします。

○丸山市長 大切な御指摘だと思っています。

先ほど本施設の経緯につきましては、新海委員からも御紹介をいただいたところで、また、先ほどの厚生文教委員会で説明もしたとおり、そもそも50床という規模としては大きくない状況の中での、これまで経営、運営というところで、ある意味で赤字が不可避的に出てきた、そういった施設であります。

一方で、昨今の状況の変化、また、ニーズの変化というものを受けた中で、やはり単純に、このまま今までどおりに、全てそのままということでは立ち行かないであろうという判断に立ちまして、私の方で判断をさせていただいて、客観的なこれまでの原因の分析であったり、また、客観的な諸条件というものを、一度しっかりと調査を行い、そして、何よりも利用者の方の保護、今、使われている利用者の方の保護もありますし、実際に今現場でお勤めの方々もいらっしゃるわけです。そういったところを総合的に勘案しながら、その上で今、森田委員の方からお話がありましたが、当市における老人健康保険施設というものをどのように捉えて、また、どういった位置付けでやるべきなのかといったところも、総合的に判断をして、簡単な話ではないということは御理解いただけていると思うんですけども、ただ、簡単な話ではないから答えを出さないということではなくて、市として、しっかりと見解を持って、また、議会の議員の皆様にお諮りをし、お示しをしながら進めて参りたいと思っております。本日のところで言えるところはこの程度でございますが、こうした思いでやっております。

○森田委員 ありがとうございます。非常に分かりやすく伝わりました。

今後の分析を進めるに当たって、コンサルの結果もあるんですけども、やはり市長も今おっしゃっていただいたように、現在、使用されている方のことを一番に考えながら、この取組を進めていってください。

○だて委員長 その他、ございますでしょうか。よろしいですか。

(「なし」と発言する者あり)

○だて委員長　　ないようでしたら、これで質疑を終了いたします。
討論はございますでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

○だて委員長　　討論なしと認めます。

それでは、これより採決をいたします。本案を原案の通り決することに賛成の方は挙手願います。

（賛成者挙手）

○だて委員長　　全員賛成。よって、本案は原案の通り可決されました。

以上で、補正予算審査特別委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。

午後 3 時10分閉会